

## 2021年度(令和3年度)ああるまつりかフラワー

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月16日

事業所名 あある まつりかフラワー

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	クールダウンできるような別室を常に使えるようにしている。	利用人数によっては狭いため、活動の内容や遊びで工夫して部屋を使うように知っている。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	2	適正人数をなるべく確保できるようにしている。	適正人数より多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	0	洗面所は踏み台を置いている。	トイレの段差は今後要検討。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	1	3	会議を毎月行うようにはしている。	業務改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	1	3	改善に向けた会議を行っている。	会議で共有して改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	1	会社HPで公表している。	ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	2	3		今後第三者評価を受けていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	1	施設内研修を実施している。	毎月行っていけるようにしたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	1	4	0	面談を実施し、立案して職員にも周知している。	個別支援計画は職員に周知して支援計画に沿った支援が出来ているか、毎日振り返り、記録に残すようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	0	個人ファイルで保管している。	毎回アセスメントツールを使って評価している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	2	2	毎日のミーティングで検討している。	ミーティングで活動の役割分担をしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	毎日の活動を月単位でスケジュール化して保護者に知らせている。	予め保護者に活動プログラムを保護者に知らせて、偏らないように検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	1	平日と長期休暇では過ごす時間が違うため、設定を変えている。	長期休暇には過ごす時間が長いいため、課外活動など普段できないことを多く取り入れるようにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	0	集団活動の中で個別の課題が出来るような内容にしている。	主要となる職員以外は支援計画を意識できていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎日ミーティングは行っている。	ミーティングの記録をノートに残しているが、それを見ている職員が少ない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	1	3	翌日のミーティングで振り返りを行っている。	休んだ職員にもミーティングの内容が分かるようにノートを活用していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	1	個人記録は必ず記載している。	経過記録を支援計画に沿ったものにするために、記録では支援計画の項目を作っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	2	2	会議で話し合いをしている。	定期的実施し、行っている。	

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	2	2	4原則は意識できている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	4	0	サービス担当者会議は実施されていない。	必要に応じて参画していきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3	0	送迎時に申し送りは常に受けている。	必要に応じてケア会議を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	3	2		医療的ケア児の受け入れはしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	2	3		非該当
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4	1		現状は非該当
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	1	日々連携している。	情報共有をさせていただき、毎年密に連携を取り助言をいただいている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	3		コロナ禍で、交流できなかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3	2		内容によっては参加を検討していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2	1	みらいダイアリーや面談を通して共通理解を図っている。	保護者との共通理解が基本なので、何かあれば必ず連絡を取り合うようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	1		コロナ禍で出来ていない。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3	1	契約時重要事項説明書で、保護者には必ず説明するようにしている。	契約時に重要事項説明書で説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	4	1	みらいダイアリーを活用し、必要時は面談を行う。	敏速に対応するべく、相談があった時はすぐに対応するように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	1		コロナ禍の為、交流する機会を持てなかった。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	2	2		苦情解決体制はあり、契約時に保護者にも説明している。今のところ、大きな苦情には至っていない。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	1	ブログを定期的に掲げている。	会報を作っていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	3	2	0	職員全員に周知している。	職員一同十分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	2	1	児童への対処はしている。	保護者は現状非該当。

2021年度(令和3年度)ああるまつりかフラワー

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	3		今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	3	2	作成している。	読み合わせなどをして、周知できるようにしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	2か月に1度取り組んでいる。	色んな場合を想定して取り組んでいきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	1	毎年必ず研修を行い、会議でも話し合いの機会がある。	毎年研修を行い高い意識を持って防止していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	2	必要な児童は、保護者の了承を得て個別支援計画に記載している。	原則を守り実施している。高い意識を持って気をつけている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	2	3		現在在籍児童で食物アレルギーのある児童はいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	2	毎月会議で共有している。	月ごとのヒヤリハットの事例集を出し会議で検証しているので、事故は減ってきている。